



学校便り 5月

【教育指針】『生徒一人一人が主人公』



【3年学年目標】

高知市立愛宕中学校
2024（令和6）年度
5月2日発行
No.2



明日からゴールデンウィークの後半の4日間

5月を迎え、明日からゴールデンウィークの後半4日間が始まります。これまでの約1ヶ月間、授業、家庭学習、係活動、委員会など、みなさんが一生懸命活動に取り組む姿を見てきました。

さて、この4週間、新たな気持ちで様々な活動に取り組んできたみなさんの身体と心には疲労も溜まっていることでしょう。この連休を利用して、日頃の疲れをじっくりと癒やしてください。休むこともとても大切です。

休んだ後は、2週間後（5月18日^土）には体育祭が開催される予定です。保護者の皆様は許される範囲で是非ご観覧ください。

学年目標
自分も仲間も
大切にする学年

【2年学年目標】

今年の「スクールカウンセラー（SC）及びスクールソーシャルワーカー（SSW）の紹介

生徒たちが家庭生活や学校生活の中で、どのような悩みを抱き、どのような形での助力を求めているのかをしっかりと把握したうえで、心のケアをする役割を担うスクールカウンセラー（SC）の先生が配置になりました。本年度から新たに川田匡基（かわだ まさき）先生です。来校日時は、毎週木曜日の10:45～12:45、13:35～17:45となっています。また、生徒たちと学校・地域などと連携して問題を解決するスクールソーシャルワーカー（SSW）の先生も配置になりました。昨年に引き続き西添みゆき（にしぞえ みゆき）先生です。ご相談したいことがありましたら、養護教諭（岡本）、教頭（森山貴雄）までご連絡ください。予約制をとっていますので、事前に申し込みをお願いします。

転出及び復帰された先生方の紹介

吉村美智子（4月30日までお世話になりました。ありがとうございました。）

山下 母都〔昨日（5月1日）から勤務しています。1年4組・5組・6組、2年3組、3年2組の外国語（英語）を担当されます。〕



【1年学年目標】

1年生（新入生）4月の様子

愛宕の元気力 1年生

生徒一人一人が主人公 高知市立愛宕中学校

入学してから約1ヶ月が経ちました。少しずつ中学生活に慣れてきた様子が見られるようになりました。授業も本格的にスタートし、一生懸命に参加している姿や先生の話に真剣に耳を傾ける姿が多く見られています。本校の教育指針である『生徒一人一人が主人公』や北舎3階（1年生の階）入口に掲げている「愛宕の元気力1年生」を実現できるように様々な場面で意欲的に取り組んでいきましょう。



【入学式の様子】



【対面式の様子】



【避難訓練の様子】

1年生初めての「中間テスト」

5月30日^木、31日^金に中間テストを実施します。定期テストに計画的に取り組んでもらうために、テスト10日前（今回は13日前）の5月17日^金にテスト範囲の発表（体育祭前日）を行っています。

なお、5月23日^木からテスト勉強期間に入りますので、家庭学習等での計画的な取組をお願いします。

きりとりせん

学校便り 返信(No.2)

()年()組 名前()

裏面に続く

2年生 4月の様子

愛宕の推進力 2年生

新しいクラスにも慣れ、委員会や学級の係も決まり、いよいよ2年生としての1年間が動き出しました。中間学年の2年生として、様々な場面や行事においても活躍を期待しています。更には、部活動も4月26日(金)部活動発足式を経て本入部になりました。先輩としての自覚をもって北舎2階(2年生の階)入口に掲げている「愛宕の推進力2年生」を実現できるよう意欲的に取り組んでほしいと思います。



【始業式の様子】



【対面式の様子】



【参観日の様子】

3年生 4月の様子

愛宕の顔 3年生

いよいよ最上級生としての1年間が始まりました。日々の生活や行事、部活動など全てがラストチャンスとなってきました。どんなことにも悔いの残らないように取り組んでほしいと願っています。

3年生の模範的な振る舞いにより、後輩達に良い影響を与えてくれることを期待しています。3年生の活躍により北舎1階(3年生の階)入口に掲げている「愛宕の顔3年生」を実現できるよう意欲的に取り組んでほしいと思います。



【部活動発足式の様子】

「自転車ヘルメット」徐々に増えつつあります

一昨年度から生徒会が中心となってヘルメットの着用を呼びかけています。本校における現在のヘルメット着用率は全体の約2割に達していないのが現状です。学年が上がるにつれて着用率が下がっているように思えます。

先月高知市の市道で男子高校生が乗用車と衝突し意識不明の重体になっている新聞記事を見ました。

いつどこで起こっても不思議ではないことだと思います。万が一そのような場面に遭遇したとき、ヘルメットを着用しているか否かでは雲泥の差が考えられます。自分の身体は自分で守ることを念頭に置き、自転車に乗る時はヘルメットの着用が当たり前となる風土をつくっていきたく切に願っています。

※今なら自転車通学用ヘルメット購入に係る最大2,000円の助成が受けられます。詳細は学校便りNo.1の裏面に掲載しています。(本校のホームページにも掲載しています。)



【自転車置き場でのヘルメットの様子】